

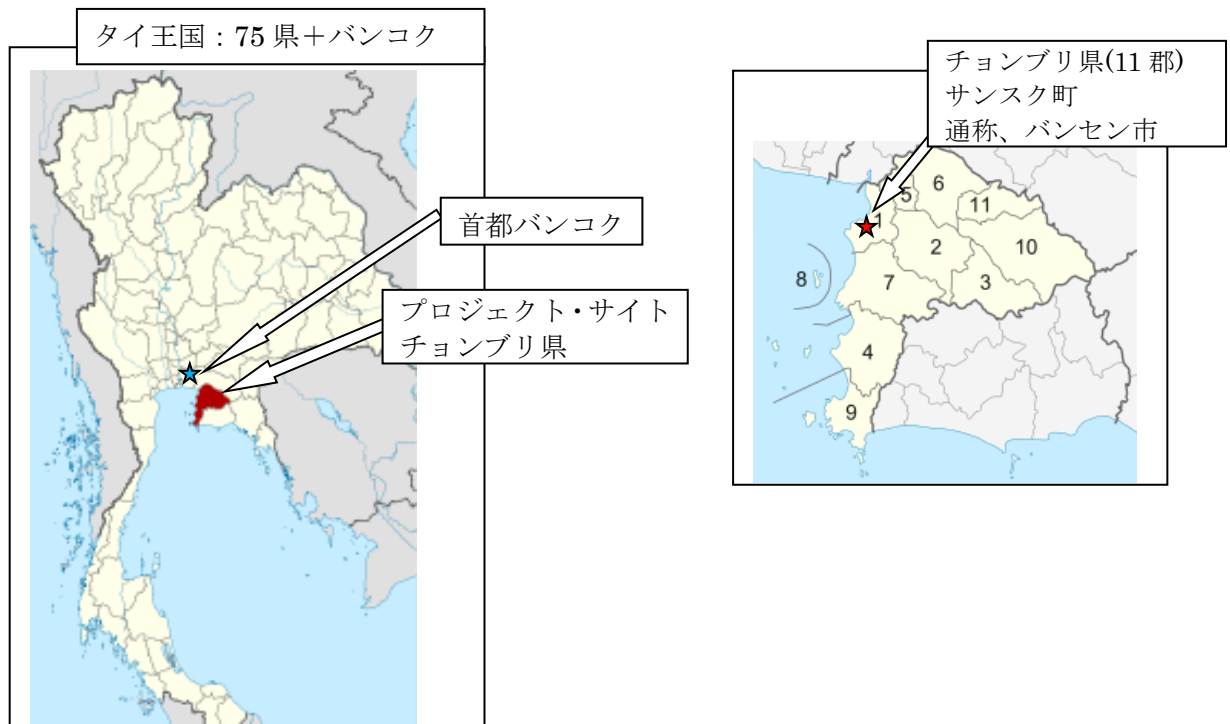
佐久大学は、佐久市との地域包括連携協定の中で JICA 草の根技術協力（地域活性化特別枠）を開始しました。

期間：平成 28 年（2016 年）1 月～平成 30 年（2018 年）12 月

プロジェクト名：タイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト
—サンスク町をパイロット地域として—
(通称：町ぐるみ高齢者ケアプロジェクト)

プロジェクトの目標：タイ、チョンブリ県、サンスク町における高齢者を対象とする地域包括ケアネットワークが構築され、介護、看護の人材が育成される。

プロジェクトの地理的な位置：



2014 年度、タイ保健省の最新の発表(http://web.nso.go.th/en/survey/age/tables_older_50.pdf)によるとタイはすでに高齢社会へ突入し、高齢化率は 14.9% (60 歳以上、10,014,705 人) です。本プロジェクトを開始したサンスク町 (住民登録者約 5 万人) の高齢化率は約 10% です。地域における公的な高齢者ケアのサービスの改善を目指しています。佐久市のこれまでの地域高齢者対策「地域包括ケア—世界最高健康都市構想」を参考にしつつ、タイ、サンスク町の既存のお寺を中心とする伝統的な集会、家族による高齢者ケアを尊重し、地域で高齢者をケアするシステムづくり、在宅看護、ヘルスポライティエによる在宅ケアを促進する活動を実施します。

- 方法：1) 佐久市に於いて、タイのプロジェクトから研修員を招き、研修を年に 2 回 (看護研修、介護研修) 実施しリーダーとなる人材を育成する。
2) 佐久市から専門家をタイ、プロジェクトの現場へ派遣し、看護研修、介護研修、現場のフォローを行う。
3) 両国の研修実施時には、地域住民と触れ合う行事に参加し、国民性、地域の文化、伝統、習慣を理解する。その上で両国の関係者が状況に見合った地域活動を提言する。

平成 28 (2016) 年度中に実施したプログラム (2016 年 4 月～2017 年 3 月)

- ・サンスク町、タイでキックオフセミナーを開催（180名参加）4/22, 2016
- ・佐久市に於いて、「看護研修」実施（タイから6名受け入れ）5/18 - 5/31, 2016
- ・サンスク町に於いて、看護・ヘルスポランティア研修（佐久市から3名派遣）8/30-9/9, 2016
- ・佐久市に於いて、「介護研修」実施（タイから7名受け入れ）9/29 - 10/8, 2016
- ・サンスク町に於いて、看護・ヘルスポランティア研修（佐久市から4名派遣）12/1 - 12/11, 2016
- ・サンスク町に於いて、看護・ヘルスポランティア研修・中間評価（佐久市から7名派遣）2/22 - 3/9, 2017 (JICA 担当官の現地視察を含む)

平成 29 (2017)年度・看護研修

日時：平成 29 (2016) 年 5 月 10 日～5 月 21 日

参加者：13 名（国立ブラパ大学医学部附属病院看護部長、同看護師、同院理学療法士、国立ブラパ大学看護学部教員、同学応用科学部(理学療法士)教員、サンスク町看護師 5 名、同市役所職員、国立タマサート大学看護学部教員、私立サミティベ病院理学療法士）

研修施設：佐久大学、佐久市、上田市、東京研修施設

研修内容：東京研修：コミュニティセンターの活用、およびデイケアプログラム
佐久市に於ける研修：高齢者の理解、訪問看護・訪問リハ実習、施設ケア・リハ、認知症の理解、脳トレーニング、退院支援、口腔ケア、栄養指導等



東京都東久留米市東部地域センター内
デイケアプログラムを見学



東京都東久留米市東部地域センター内
図書館、多くの高齢者が入っている。



行徳デイケアセンター、移動式簡易浴槽



行徳デイケア翔裕園、隣の保育園児と朝の体操



佐久市、ライオンハート・リハセンター



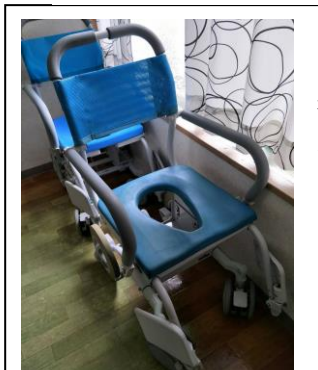
脳卒中後のリハビリテーション研修



訪問看護へ同行（シャドウリング）
レベルの高い技術に感銘を受けました。



講義：認知症ケアについて
タイで強化していきたい領域です。



福祉機器にも
注目しまし
た。



「佐久病院祭」で学び、来年は、タイでの開催をめざします。



佐久大学の学生のお点前でお茶をいただきました。



鹿教湯病院リハセンターで、偶然、タイ人の患者さんに会い会話がはずみました。

評価会（5/19）では、①この研修で何を学ぶことができたか。②研修の学びをどのように仕事に活かすことができるか。帰国後のアクションプランが発表されました。

下記の点があげられました。

1. ブラパ大学病院ができること：(1)病院から在宅への退院指導（他職種連携）、
(2)病院が行う訪問看護、訪問リハビリテーション
2. サンスク町環境衛生部（看護課）及びサンスク町の2つの保健センターができること。
(1) 健康増進活動：音楽療法、脳トレーニング
(2) 病院と連携して在宅支援を行う。
(3) 訪問看護、ヘルパーケアの知識、技術の向上、患者の薬の管理への指導。
3. 理学療法士
(1) 脳卒中後のリハビリテーションについて、最初の基礎的な指導を患者、家族へ行う。
(2) ヘルスボランティアを指導する。
4. 大学：研究活動、及び地域活動への協力



タイで患者が多い「糖尿病センター」の診療について熱心に聴きました。



訪問看護後の記録について、ステーションで学びました。

帰国後の活動



6/30, 2017 リハビリテーション器材コンテスト開催、優勝したヘルスボランティアと患者

